

「池田分かち合いの会・ひかり」

No. 2

発行責任者：植村ヨシ子 編集：京井幹男

発行日 2021年10月

田中幸子講演会「自死遺族として生きること」報告

場所：「豊中商工会議所」

参加費：無料

日時：2021年6月19日（土）

自死のない社会に変えていくには

- 1) 優しい人が優しいまま、笑顔で生きられる社会に変えていく。
- 2) 共存社会をめざす 自死で逝った人は、いかにいい望んでない。
- 3) 活動は「皆で交え合う」「自分と周りが原点」「互いに良い所を認め合いながらいく」
例えば、「思いやり、優しさ、気づき」
- 4) 多種多様なボランティア団体と認め合いながら、ゆるくいく。

池田分かち合いの会・ひかり in 豊中（定例会・毎月第二土曜日）

場所：「情報サロン」又は「とよなか男女共同参画センターすてっぷ」5階（阪急豊中駅すぐ）

池田分かち合いの会・ひかり in 池田（定例会・毎月第三土曜日）

講師の話と分かち合い

場所：「ヌーナーション」3階（阪急池田駅より徒歩2分）

いずれも午後2時から・事前申込み不要・参加費無料

問い合わせ先：植村ヨシ子（代表） 電話 080-3858-2954



生きること

みんなで話そう

私は生きていていいのだから

か。居ない方がいいんじゃない

か。私が生きていると皆に迷惑をかける

か。そんな思いで生きていた時が

ある。遺族の方の話を聞いてい

ると、亡くなられた方々もこの

ティアを持っておられたように

思う。遺族の中にも同じ思いの

方もおられる。

意外と見つけにくいのです

よ。生きていていい理由が。特

別な才能があるわけでもなく、

私は病人ですから、経済的独立

は望めない。完全にお荷物と

思っていた。病気でも経済的独

立を成し遂げている方もおられ

ます。その時の私には見えてい

なかつたし、その力はなかつた。

「私は生きていていいのか」と

いう問いかけは、生きていい人

と悪い人を分けられると言っ前

提がある。

分けてみよう。健康な人がいい

なら病人はアウト。善人がいい

なら悪人はアウト。社会の役に

立つ人、立たない人。

健康で善人で社会の役に立つ

なら生きていい。何となく認め

ちやいそ。でもこれを認める

と自動的に病人で悪人で社会に

役に立たないなら生きる価値が

ないことになる。

そして私はどう見ても後者の方

なのだ。これには長い間苦しめ

られた。

雨にも負けて

風にも負けて

世間にも負けて

それでも生きていいんだよ

生きていてほしかった

あなたには



(K)